

# 令和4年度「未来を創る学力向上支援事業」に係る第2回小学校教科担任制推進協議会

【目的】 教科担任制を推進する教員及び市町教育委員会指導主事を対象に、教科担任制の推進に係る行政説明及び協議を行うことにより、教科担任制の充実と本県児童の学力向上に資する。

【期日】 令和5年2月7日(火)13:30～16:00

【会場】 大分県教育センター 講堂

## 1. 開会行事 大分県教育委員会挨拶 <義務教育課長 武野 太>

○令和元年度からの取組について

○小学校教科担任制の実践研究より

- ・教職員一人一人が指導する教科が減少し、教材研究が深められている。
- ・複数学年で指導することにより、教材の系統性を踏まえた指導が行われている。
- ・複数教員が指導の情報交換を行うことで多面的な児童理解に基づく組織的な生徒指導が行われるようになった。



## 2. 行政説明「小学校教科担任制の推進について」<義務教育課 指導主事 田口 昭彦>

(1) 大分県における小学校教科担任制導入の状況

- ・大分県が目指す小学校教科担任制の類型
  - > 高学年学級担任間の交換授業
- ・県内で高学年学級担任間の交換授業を導入している学校数は増加している。(R2:43.7% → R3:50.2% → R4:58.1%)



(2) 児童質問紙調査(4・10月)の結果から

- ・10月は4月に比べ、多くの教科の授業が「好き」「分かる」の肯定値が増加している。
- ・「課題に対して自分から進んで取り組んだ」では肯定値が80%を上回っており、「教科担任制」はよい方法だと思う」では肯定値が90%近い高い水準となっている。

(3) 全国学力・学習状況調査(質問紙調査)の結果から

令和4年度 ※R3推進教員配置の36校の結果	推進教員配置校	県	全国
国語の勉強は好きですか。	70.8%	63.2%	59.2%
国語の授業の内容はよく分かりますか。	92.4%	86.0%	84.0%
算数の勉強は好きですか。	67.4%	65.2%	62.5%
算数の授業の内容はよく分かりますか。	89.2%	82.1%	81.2%

(4) 令和4年度の高学年学級担任間における交換授業の導入例

大規模校	1つの学年が3学級以上	同じ授業を複数行うため、1回目に行う授業が1つの学級に偏らないように配慮した。(佐伯市立鶴岡小学校)
中規模校	1つの学年が2学級	校長が、4月に学校の経営方針の柱の一つとして、教科担任制を打ち出し、高学年で教科担任制を進めることについて、全教職員で共通理解を図った。(豊後高田市立桂陽小学校)
小規模校	1つの学年が2学級未満	日課表の作成では、「理科」の前に空き時間を作り、実験準備等ができるように配慮し、職員会議で生徒指導に関することは、常に情報交換を行うことを確認した。(九重町立野上小学校)

(5) 小学校教科担任制導入の成果と課題

	成 果	
学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き時間を教材研究に充てられた</li> <li>・自分の授業改善につながった</li> <li>・児童の学習意欲向上につながった</li> <li>・学習内容の系統性を捉えて授業に生かした</li> </ul>	
	課 題	→ 解決策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲学年単学級での導入</li> <li>▲日課表の作成・調整</li> <li>▲経験の浅い教員にとって、全ての教科を指導しないことの次年度への不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動教室の配慮</li> <li>・1日1時間以上の教材研究時間の確保</li> <li>・空き時間に担当以外の教科の授業観察</li> <li>・3年間で全ての教科を担当できるよう配慮</li> <li>・1つの教科指導の徹底による授業スタイルの確立</li> </ul>
	成 果	
生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数教員による多面的な児童理解</li> <li>・組織的な指導体制の構築</li> <li>・複数教員が同じ目線で同じ指導を徹底できる</li> <li>・担任以外の教員との関わりの増加</li> </ul>	
	課 題	→ 解決策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲児童に即時的な指導を行いつらい</li> <li>▲年度当初は、担任が児童理解に時間を要する</li> <li>▲担任との関係の希薄化を懸念する保護者の声</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年部全体で児童の指導を行うという意識の構築</li> <li>・児童について定期的な情報交換</li> <li>・複数の教員との関わりは児童の人間性の育成につながることを保護者に説明</li> </ul>
	成 果	
中学校への円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の中学校担任制への安心感</li> <li>・中学校の授業スタイルに慣れる</li> <li>・多面的な児童理解により、配慮が必要な児童の中学校への情報提供が的確になる</li> </ul>	
	課 題	→ 解決策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲授業者が変わるという変化が苦手な児童への対応</li> <li>▲教科担任制を否定的に捉える児童・保護者への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣れるまで、丁寧な対応が必要</li> <li>・年度当初に管理職から、教科担任制のメリットについて、保護者や地域に説明</li> <li>・教科担任制の授業を積極的に公開</li> </ul>

3. 情報交換及び協議 「小学校教科担任制導入の成果と課題について」

大規模校	<p>&lt;日課表の作成、生徒指導上の情報共有について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に学年部会で日課表を確認し、教科の平準化やT2の活用を目指すことが大切。</li> <li>・生徒指導上の情報共有のための時間を意識的につくるのが大切。</li> </ul>
中規模校	<p>&lt;組織的な生徒指導について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科の学習規律を統一し、複数教員が同じ視点で指導ができるようにすることが大切。</li> <li>・学年部の連携を密にし、常に情報共有を行うことが大切。</li> </ul>
小規模校	<p>&lt;単学級で交換授業を実施することについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ授業を複数回実施することはできないが、学年を跨いだ教科の系統性を意識した授業を実践していくことが大切。</li> </ul>



4. 開会行事